

報告とお礼

コロナニモ、雨ニモマケズ、350名超が結集。

朽原発うごかすな！実行委員会・木原壯林

関電は、原発に関連して、一昨年来、原発マネーの不正還流、再稼働準備工事中の人身事故、蒸気発生器配管の損傷をはじめとするトラブル、使用済み核燃料中間貯蔵候補地に関わる約束違反など、不祥事を頻発させています。関電の倫理や技術は崩壊し、地に落ちていることを物語っています。

それでも、関電は、運転開始後 40 年をはるかに超えた老朽原発・高浜 1、2 号機、美浜 3 号機を本年早々にも再稼働させ、全国の原発の 60 年運転に道を開こうとしています。

関電は、昨年 9 月、美浜 3 号機、高浜 1 号機の安全対策工事が終了したと発表し、各々の原発の本年 1 月、3 月再稼働を画策していました。また、立地自治体・美浜町、高浜町の町議会は、再稼働同意を決議しています（昨年 12 月、11 月）。

しかし、もう一つの立地自治体・福井県の杉本知事は、「使用済み核燃料中間貯蔵候補地が提示されない段階では、再稼働を論じることはできない」としています。また、美浜町長、高浜町長も再稼働同意を逡巡しています。

そのため、美浜 3 号機の再稼働は、少なくとも 1 カ月以上遅れています。再稼働を阻止し得ている背景に、「老朽原発うごかすな！」運動の高揚があることは言わずもがなです。

なお、関電は「2018 年末までに、使用済み核燃料の中間貯蔵候補地を福井県外に探す」と明言していました。西川前福井県知事が、大飯原発の再稼働に同意したのは、この約束を前提としていました。しかし、関電は、この約束をホゴにし、その時「候補地提示期限を 2020 年末まで」と再約束しました。関電は、この再約束もホゴにして、大飯原発 4 号機を、1 月 15 日、起動させ、老朽原発再稼働まで画策しているのです。しかも、去る 12 月 4 日に、大阪地裁が大飯原発 3、4 号機の設置許可の取り消しを命じ、国が控訴した、係争中の大飯原発 4 号機の起動です。

関電は、何の成算も無く「空約束」をし、平気でそれを反古にする、企業倫理のかけらも持ち合わせない企業と言っても過言ではないでしょう。

昨年、「老朽原発うごかすな！実行委員会（実行委と略）」が呼びかけた「老朽原発うごかすな！大集会 in おおさか」（9 月 6 日）には、コロナ感染の拡大に加えて台風の中、1600 人の参加を得ました。また、「老朽原発うごかすな！キャンペーン期間」（10 月 1 日～11 月 22 日）には、関西 23 自治体に申入れを行いました。11 月 23 日の「関電包囲大集会」（550 人参加）を旅立ちとして、12 月 9 日に美浜町に到着した「老朽原発うごかすな！リレーデモ」には延べ 1380 人の参加を得ました。12 月 9 日には、美浜町内デモ、町役場および関電原子力事業本部前での抗議・申入れ行動を闘いました（約 200 人参加）。これらの昨年の行動は、脱原発を目指す関西、福井の市民団体、労働団体、政党のほとんどを含む 220 の団体、840 人の個人の賛同を得て実行されました。昨年は、「老朽原発うごかすな！」を合言葉にした共闘の輪が大きく広がった年でした。

本年 1 月 15 日には、大飯原発 4 号機再稼働阻止緊急行動を呼びかけましたが、40 名ものご参加の下、おおい町内デモ、原発前抗議、申し入れ集会を行いました。

まだまだ、老朽原発再稼働を許してはいません。私たちの闘い如何では再稼働を阻止できます。

1 月 24 日の関電前「関電よ  老朽原発うごかすな！大集会」には、そのようなやむに止まれぬ決意をもって、コロナの緊急事態下、雨にも拘わらず、350 人超のご参加を得ました。

ご参加、ご支援の皆様、ありがとうございました。